

岡田美佳後援会

刺繍画家・岡田美佳を応援するボランティアの会

電話 FAX 03-5707-2686

岡田美佳刺繍画展

窓を開ければ…春

2011年2月17日(木)～23日(水)
於 渋谷・東急東横店南館8階アートサロン

開催のお知らせ

連絡先: 岡田美佳後援会 村田

電話: (03) 5707-2686

sandton@kf7.so-net.ne.jp

リリース

2011年 1 月

刺繍による新しい表現を求める岡田美佳さん。大胆かつ繊細なステッチと色使い。さまざまな素材を駆使した立体感ある画面。独自技法を駆使した刺繍は、比類ない輝きと温もりある質感によって、観る者を心温まる世界に誘います。

本展では、長く描き続け、「食卓」とともに、特徴となった「窓」のある風景をテーマに作品の魅力にせまります。

私たちをご馳走が迎え入れる「食卓」と同じように、外と内に開く「窓」は、作品と観る者を結ぶ装置。また、現実世界と想像世界の間を自由に行き来できる作品自体、一つの「窓」ともいえます。人とのコミュニケーションが苦手な閉ざされた世界に生きる美佳さんは、刺繍画という窓を通して、

外界と触れ合おうとしているようにも思えます。

描かれた「食卓」にすわり「窓」を開ければ、心を解き放す優しさに満ちた世界が広がっていることでしょう。それは、岡田美佳しか映し出すことのできない私たちの遠い記憶でもあるのです。

美佳さんは情緒障害を一つの才能に変えて、20年以上にわたり、従来の刺繍という枠を超えたテクニックを編み出し、独特な世界観を描いてきました。

平坦な道ではありませんでしたが、作品に感動した人、ギャラリー・美術館・会社・マスコミさまざまな立場の方々が、展覧会開催や刺繍糸などの寄付等のボランティア活動により、作家の制作活動を支えてきました。お蔭様で、展覧会は、毎回1,000人以上もの方にご高覧いただいています。

さらに、昨年より、作家の社会的自立を目指して、作品販売を本格的に開始し、その初回となった東急東横店アートサロンでの展覧会は大成功をおさめ、プロ作家として、第1歩を踏み出したのです。

そして、厳正な審査を経て、平成23年度の美術年鑑の工芸部門に作家として、作家名と評価価格が掲載されることになりました。

本年度は本展につづき、銀座・伊東屋、東急吉祥寺店で展覧会を予定しております。

閉ざされた作家でも、アウトサイダーでもなく、一人のアーティストとして、一步一步成長し、社会から認められていきたいと思えます。そして、彼女の作家活動が障害のある方たちの励みとなることを願っています。どうぞ、展覧会の紹介をお願いいたします。

詳細

会期：2011年2月17日（木）～23日（水）

午前10時～午後9時*20日（日）は、夜8時まで（最終日は17時閉場）

会場：渋谷・東急東横店南館8階アートサロン

150-8319 東京都渋谷区渋谷2-24-1

TEL03-3477-3111（代表）<http://www.tokyu-dept.co.jp>

連絡先 岡田美佳後援会 村田 03-5707-2686

岡田美佳刺繍画展 窓を開ければ…春

従来の刺繍という枠を超えた技法で、独特な世界観を表現する刺繍画家岡田美佳（1969年～）。

大胆さと繊細さを合わせ持つステッチと色使い。さまざまな形や素材が織りなす表情豊かな画面。作品は、刺繍ならではの温かな質感に加えて絵画のような光の輝きとレリーフにも似た存在感に満ちています。

本展は、「食卓」とともに長く描き続けてきた「窓」のある風景をテーマに作品の魅力に迫ります。内と外を結ぶ窓は、観る者を絵の世界に誘う不思議な力をもっています。「窓」の登場する秀作とともに、心に春を呼ぶ作品を多数出品いたします。

壁にポカリと穴を開けたような《明かりをつけて》(fig.1)の窓。
そっと中をのぞけば、カタクリやブルーベルの花咲く森の小道。(fig.2.3)
若葉のトンネルをぬけると、そこは春爛漫の里山。(fig.4)(fig.5)
豊穡な色彩と光が晴れやかなメロディーを奏でています。

ご馳走が並ぶテーブルに優しい光を降り注ぐ窓。(fig.6.7.8.9)
時空を超えて見知らぬ異国の街を映す窓。(fig. 10 .11)
爽やかな春の風が吹き込む一瞬を捉える窓。(fig.12.13)
閉ざされた静謐な世界を包むスタンドグラスの窓。(fig.14)
青い空と陽差しを浴びる草原を窓辺の花瓶が見つめている《ガラス器》の窓。(fig.15)
窓は、いつも私たちのそばにあって、遠い日の記憶を映し出してくれるのです。

作品に描かれた窓を通して、心を解き放す安らぎの世界に浸っていただきたいと存じます。

岡田美佳後援会

会期：2011年2月17日（木）～23日（水）

午前10時～午後9時*20日（日）は、夜8時まで
（最終日は17時閉場）

会場：渋谷・東急東横店南館8階アートサロン

150-8319 東京都渋谷区渋谷2-24-1

TEL03-3477-3111（代表）<http://www.tokyu-dept.co.jp>

Fig1 明かりをつけて」 Fig2 「ブルーベルの道」

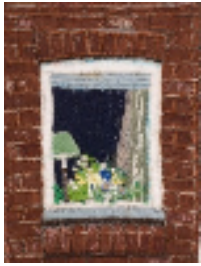


Fig3 「かたくりの道」



Fig4 「土筆」



Fig5 「里山の春」



Fig6 「いちごをつんで」



Fig7 「藤のソファ」



Fig8 「私の海」
こう」



Fig9 「フルーツサラダ」



Fig10 「イタリア南部・石灰の壁」 Fig11 「窓の向



Fig12 「朝の風」



Fig13 「テリース」



その他「窓」のある風景 「窓の外は雪」



Fig14 「スタンドグラス」



Fig15 「ガラス器」



その他「窓」のある風景「陽だまり」



おかだ みか
岡田 美佳 履歴

1969年 東京京生まれ。

幼少期より絵を巧みに描き、盛んにフェルト人形などをつくる。

小学生の時には、手織り機で作品を多数制作。

中学生の頃、藍染や型染めを習うなど、さまざまな創作活動を行う。

その後、敬愛する安野光雅先生の絵画を刺繍で模写したことを機会に、刺繍画の世界に入る。

1992年より刺繍画の個展を各地で開催。

現在、自宅に併設された「美佳の美術館」に400点余りの作品が展示・収蔵されている。

主な個展と作品展示：

練馬区立美術館、光が丘美術館、ギャラリー光が丘、暮らしの手帖社別館、横浜市歴史的建造物

山手234番地、広島・泉美術館、長野・茅野市美術館、米子市美術館、嫁菜の花美術館

マルメ大学総合病院小児児童リハビリテーションセンター(スウェーデン)

八ヶ岳美術館、宮崎県都城市立美術館、武蔵野市民文化会館、

ミキモトギャラリー(名古屋店・梅田店・本店：銀座ミキモトホール)

茨城県天心記念五浦美術館、埼玉会館、島根県立美術館

KCCキッコーマンギャラリー、ギャラリー・アルピーノ、

渋谷・東急東横店アートサロン、ギャラリー上原

掲載記事

雑誌「暮らしの手帖」70号、「銀花」第123号、「刺繍通信」vol 7などに特集記事

2002年1年間にわたり、毎日小学生新聞に「美佳の美術館」として作品と記事が毎月掲載

2011年度版美術年鑑 現代工芸の部に作家名 記載

「ポコラート全国公募展2011」に入選